



つるせ台小だより

子どもたちの笑顔があふれ、家庭・地域と共に学び合う活力のある学校

多くの学びを、次の飛躍に

校長 藤谷 健二

あけましておめでとうございます。子供達は、冬休みを満喫したようで、始業式の日には、どの子も元気いっぱいの姿を見せてくれました。「初詣に行って大吉だったよ。」「お年玉もらったよ。」と友達と笑顔で話す様子も見られ、学校に再び活気が戻り、明るく3学期がスタートしました。

「つるせ台小学校」が開校から20周年ということで、実行委員の6年生を中心となり様々な企画を立て、実行してくれました。大声選手権やサイエンスショー、つるせ台小クイズ、つるせ台小の歴史を振り返るムービー、バルーンリリース、モザイクアートなど、どの取組も子供達自身が考え、自分達の手で創り上げたものです。活動を進める中で、「もっとこうしてみよう。」「役割はどうする？」と話し合いを重ねながら一つ一つ丁寧に準備を進めていました。やり遂げるごとに実行委員の子供達の表情は生き生きとし、自分達で作り上げる喜びや成し遂げた達成感を感じている様子が伝わってきました。また、実施するたびに創意工夫が随所に見られとても感心しました。

各学級も年末に、「お楽しみ会」や「2学期がんばったね会」を実施していました。どの学級でも、学級会の話し合い活動で、「何をするか。」「準備に何が必要か。」「誰がどの役割を担うのか。」といったことをしっかりと話し合い、計画を立てて実行に移していました。司会進行を担当する子。プログラムを作る子。教室の飾りつけをする子など一人一人が役割を果たし、協力して作り上げる姿が見られました。こうした経験をとおして子供達は、「次はこうしてみよう」「もっと良くしていこう」と振り返りながら、多くのことを学んだのだと思います。

3学期は、1年間のまとめを行うと同時に次の学年に向けた準備の学期でもあります。特に6年生は、中学校への進学を控え、さらに大きな一歩を踏み出す時期となります。多くの学びを、次の飛躍につなげ、子供達一人一人が自分の力を最大限に伸ばし、新たな挑戦へと羽ばたいていけるよう教職員一同、力を合わせて支えてまいります。

保護者の皆様、地域の皆様には、昨年中は本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。本年も子供達のより良い成長のために教職員一丸となって教育活動を進めてまいります。引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。